

第1回

平成24年度
学習院中等科入学試験

国語

時間 8:40 ~ 9:30

〔注意〕

1. 試験中は受験票を机の左上におきなさい。
2. 机の上には筆記用具（えんぴつ、シャープペンシル、消しゴム）と受験票以外は出してはいけません。
3. 解答はすべて解答用紙に書きなさい。
4. 始めの合図があるまでは問題を開いてはいけません。
5. 問題の内容についての質問は受け付けません。
6. 試験の終了はチャイムの鳴り始めです。
7. 用がある人は静かに手をあげなさい。
8. ページがぬけていたり、印刷が読みにくかったりした場合は先生に申し出なさい。
9. 試験が始まったら、問題のページ数をたしかめなさい。問題は1ページから10ページまでです。
10. 字数が決まっている問いについては、「、」や「。」も一字と数えます。

— 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

エミナ(15)が3年生の新しいクラスで学級委員長になったと聞いて、アツシ(14)はさすがに驚(おどろ)いた。2年のときあれだけ文句言ってたくせに……。

どういう①シンキョウの変化なんや。廊下(ろうか)でばったり会い、思わず問いつめた。するとエミナは胸を張って答えた。

「私は別に、クラスの空気を乱したかったわけじゃない。『クラス運営はこうあるべき』っていう考えがあったから、意見を言っただけ。それなら自分が委員長になったほうが手っ取り早いのかなくて」

あるべきクラス運営? 「一人ひとりの意見が尊重されて、斬新(ざんしん)なアイデアでも邪険(じゃけん)にされないクラス」。もちろん、この理由はウソじゃない。でもエミナの本音はもう少し複雑だ。

実は2年生のときも、学級委員長に手を挙げようとした。でも担任のユウヤ先生(31)に話すと、「もう一度よく考えてみたら?」と言われて引いてしまった。 「 A 」と感じたからだ。

きつと、自分は成績がよくないせいだと思う。

エミナはバスケット部員。部活ではだれよりも大きな声を張り上げている。テストの順位は下から数えたほうがずっと早いけど、元気の

よさでは負ける気がしない。歌うことが好きで、将来は声楽家になれたらと②ユメを持っている。人前に出るのは苦にならないし、目立つことは好きだ。

というか、元気のよさぐらいしかとりえがない——と自分で思っている。

頭のいい人は、勉強ができる、できないで人を③ハンダンする。たぶん、成績がよくない人の気持ちはわからないはずだ。現にアツシがしばしば私の意見をテキトーに受け流そうとするのも、迷惑(めいわく)げな顔をするのも、「成績の悪いおまえの意見なんか聞いてられっか」という気持ちなんだと思う。

でも、そんなのおかしい。っていうか、頭がよい私が学級委員長になれば、みんなの意見をちゃんと平等に聞いて、クラスを盛り上げることができる。考えてみれば、成績がよくない子の気持ちがかかる、元気のよさがとりえの私こそ、学級委員長になるべきじゃない?

9月の体育大会に向けて、応援(おうえん)の中核(ちゅうかく)となる応援団を選ぶ話し合いが始まった。皆(みな)の前で応援合戦を仕切るので、「声が大きい」「元気がいい」といった点が重視される。教壇(きょうだん)に立ち話し合いを仕切るのは、学級委員長のエミナ。

ある男子が「やりたい」と立候補した。え? 君って、目立たな

い、引っこみ思案なタイプやん。エミナは「B」だった。応援合戦はクラスの団結力を示す晴れ舞台(ぶたい)。私が委員長を④ツトめる以上、他のクラスを圧倒(あつとつ)する気合いと元気がほしい。なにしろ「元気がとりえ」の私が委員長になったんやから。

エミナは、「あんたにちゃんとつとまんの？」と、疑わしげな目を向けた。

男子はしばらく黙(だま)り、「やっぱりいい」と立候補を取り下げた。エミナは内心ホッとした。

やりとりを横で見守っていた担任のテツヤ先生(26)は話し合いが終わるとすぐ、エミナを教室の片隅(かたすみ)に呼び寄せた。「なぜ人の前向きな気持ちを失わせるようなことを言うんだ!」。すごい剣幕(けんまく)。テツヤ先生はエミナの「やる気」を買って委員長就任を受け入れた。その当人が、他の子のやる気をくじいたことが許せなかったのだ。

エミナは思わず「すみません」とくり返したが、素朴(そぼく)な疑問を口にしただけでなぜ怒られるのか、心外だった。体育大会を盛り上げたい一心で言っただけにの——。

テツヤ先生はしばらく考え、「せめて、人の気持ちを⑤キズつけない言い方はできなかったのか」と静かに論(さと)した。

おまえが学級委員長になりたいと言ったとき、だれか一人でも「お

ところが2日目はいけなかった。午後の「マリン体験」。海が大好きなエミナにとって、沖縄の青い海は⑥ダイコウフンの対象。点呼を忘れ、クラスメートをはるか後方に置いて真っ先(さき)にかけ出した。さんざんはしゃいで砂浜に上がると、腕(うで)組みをしたテツヤ先生が見えた。やばい……。

テツヤ先生は宿で、言葉を選びながら注意した。気持ち(う)き立つのは仕方ない。委員長が楽しむのもいい。でも委員長が決めごとを真っ先に破るようじゃ、みんなもルーズになる。役目の重さをもう一度考えろ——。

叱(しか)られた後も、仕事があった。宿泊部屋を回り、翌日の注意事項(じこう)を伝えなければならぬ。ルールを破った自分が、えらそうに「ルールを守ろう」って言うわけ? 嫌(いや)で仕方なかったが、どうしようもない。「ガイドさんの説明は静かにきかなきゃダメです。整列はもう少し早くしまし……私(わたし)もできてなかったけど。ごめんなさい」。すると、聞いたことのない言葉が返ってきた。「C」「D」

これまで他人のおかしいと思う点を指摘(してき)すると、決まって「お前には言われたくない」と返された。いいこと言っても、人よりがんばっても、相手にされない。それが自分だと思ってきた。初めて認められたんだ、私(わたし)。(4)また涙(なみだ)が出た。

9月、エミナ委員長をめぐる異変(いへん)が勃発(はつぱつ)する。エミ

まえなんかにできないよ」とばかにしたやつがいたか?

(1) エミナはハツとした。私は、自分が目指していた「一人ひとりの意見が尊重されるクラス」とは、全く逆向きのことをしたんだ。私(わたし)って一体……。

翌日、立候補を取り下げた男子のところにいった。「失礼なことを言ったと思います。すみません」。頭を下げるしかなかった。男子はエミナのしおらしい姿にびっくりした様子で、「ああ。まあ、大丈夫」と答えた。(2) エミナは涙(なみだ)が出てきた。

6月。3年生一行は2泊3日の沖縄(おきなわ)修学旅行に出かけた。

迷子になったり、けがをしたりする子が出ないよう、学級委員長のエミナは先生を補佐(ほさ)してクラスを*統率(とうそつ)する役を担(にな)わねばならない。初日は沖縄本島南部の戦跡(せんせき)などを訪問。自分で言うのもなんだが、委員長らしくがんばったと思う。まず「3日間よろしくお願いします!」とバスガイドさんにクラスを代表してあいさつした。口ごもることなく、さわやかで元気だった。平和祈念(きねん)公園の式典では、合唱曲「いつまでも」をだれよりも大きな声で歌った。点呼も忘れず、初めての沖縄にはしゃぐ皆を整列させた。

人一倍、修学旅行を楽しみにしてきたのはこの私。でも委員長の立場を自覚して、(3) オトナなふるまいができてるんちゃう?

ナに茶々(ちゃちゃ)を入れられ応援団への立候補を取り下げたタツキ(15)が、退陣(たいじん)を求めて賛同者を募(つの)る「エミナ降ろし」を始めたのだ。

一体どうして? 応援団の一件はちゃんと謝って、許してくれた感じだったやん。なんで今さら——。エミナにはわけがわからない。

確かにタツキは謝罪を受け入れた。でも9月になって体育大会の応援練習が始まると、怒(いか)りが再燃した。委員長は応援団員を兼(か)ねることが多い。エミナもそうだ。だが、タツキにはエミナがまじめに応援団をやるうとしているとは思えなかった。

練習中、よそ見が多い。髪(かみ)ばかりさわっている。声も小さい。おれを応援団から降ろしたくせに、何や。応援団としても委員長としても失格や。

クラスの一人一人にエミナ委員長をどう思うかたずね、解任(げにん)への賛同者を「正」の字で記録していった。

ところが予想外にエミナをかばう声が多い。タツキは少しあせった。はつきり反対した子以外は賛同者にカウントし、15人に達したところで担任のテツヤ先生に直訴(じきそ)した。

陰(かげ)でコソコソ動く行為(こうい)はテツヤ先生の最も嫌(きら)うところだ。だがこれまでの経緯(けいゐ)を考えると、タツキの気持ちもわかる。緊張(きんちよう)した表情で返事を待っているタツキ。先生は、静かな声で語りかけた。

やめさせるのは簡単や。(5)でもそれは長い目で見ると、おまえやエミナのためにならない。社会に出れば嫌な相手とも付き合わないといけない。エミナにもいいところはある。やる気なさげに見えたなら、引きずり降ろすのではなく、やる気を引き出してやることを考えてみたらどうや。

タツキは唇(くちびる)をかみしめた。テツヤ先生は「「E」とは思うけど、先生はそうできる人を尊敬する」と付け加えた。

あ、おれ大人あつかいされてる。タツキは自分のこだわりが小さく思えてきた。大人の世界もラクじゃないよな。

にぎりしめた「「正」の字のメモを破り捨てた。学級委員長になったエミナの苦勞ぶりを見て、アツシはいい葉だと思った。

これであいつも俺(おれ)の大変さがわかったろう。二度と生意気な口をたたくなよ。ところがその苦勞をなめたはずのアツシが今も副委員長をしている。あれほど嫌だったクラスの話し合いを委員長とリードしているのだ。

さすがに委員長をもう1回やりたいとは思わない。でも副委員長の椅子(いす)が埋(う)まらないのを見て、自然に手が挙がった。エミナという波乱要因を抱(かか)えつつ役目を乗り切ったことが、なんだか自信になっていた。

特に、「三年生を送る会」。

エミナのイチャモンにめげず合唱曲を決めたのはいいが、練習は盛り上がりなかった。エミナは抗議(こうぎ)の意思を示すかのようにつづきを向いているし、私語をする男子も多かった。

3年生の中には自分の兄もいる。アツシは練習を止め、訴(う)った。えた。こんなやる気のない歌で送ってもらっても、3年生が喜ぶはずがない。来年は自分たちが送られる立場になるんだぞ。今年いい加減にやれば、下級生は「この程度でいいんだ」と思う。こんな態度で送り出されて俺たちはうれしいと思えるか？

自分でも驚くぐらい、はつきりと「「6」自分の言葉で話せた。そして意外なことに、エミナが大きくうなずくのが見えた。

このあたりから、渋々(しぶしぶ)という感じではあったが、みんなまじめに練習するようになったと思う。そして本番。体育館をビリビリ震(ふる)わせるほどの声が出た。3年生を観察する余裕(よゆう)はなかったが、一瞬(いつしゅん)目に入った兄は、目頭(めがしら)をおさえていたと思う。

そして今のクラス。そこそこの意見が出る。とっぴな発案や強引な異議もない。なんて楽なんだ！なぜか、エミナがさわぎ立てていたところがなつかしい。

廊下でエミナを見かけ、思わず声をかけた。「「7」リッパになったやん」。エミナは「唇をとがらせた。「別に！まだまだこれか

らだよ」。相変わらず可愛(かわい)げねえなあ。苦笑してエミナの背中を見送った。

阪本輝昭の文章による

*統率 集団をまとめ、率いること。

問一 ぼう線①から⑦のカタカナの部分の漢字に直しなさい。

問二 「A」に最もよく当てはまる言葉を、次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

A とても応援されている

I あまり歓迎(かんげい)されていない

U みんなから信頼(しんらい)されていない

E 成績を上げないといけない

問三 「B」に入る言葉を漢字二字で書きなさい。

問四 波線(1)で、エミナがハツとした理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

A クラスを思っで発言しているのに、それを先生や友人に認めてもらえなかったから。

I クラスメートをばかにして、みんなからの信頼を失ってしまったから。

U 自分が前に感じたのと同じ嫌な気持ちを、別の人に感じさせてしまったから。

E 成績がよくない自分が委員長なのに、成績のよくない子の気持ちを無視してしまったから。

問五 波線(2)と(4)でエミナは、それぞれどうして涙を流したのですか。それぞれの理由のちがいが分かるように説明しなさい。

問六 波線(3)の「オトナなふるまい」とはどのようなことか説明しなさい。

問七 「C」「D」に当てはまる言葉を、次の中からそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

A エミナはがんばってるよ I せっかく選んだのに

U 委員長失格だな E 自分が守ってね

オ ありがとね カ どうでもいいよ

問八 波線(5)で、先生が二人のためにならないと言った理由を六十文字以上七十文字以内で書きなさい。

問九 波線(6)の「自分の言葉」とは、どのような言葉のことですか。「言葉」につづく形で、十五字以内で書きなさい。

問十 「E」に最もよく当てはまる言葉を、次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

A 悲しい I くやしい U ひどい E 情けない

問十一 波線(7)で、エミナが唇をとがらせた理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 昨年は委員長だったくせに、今年は副委員長になって、樂
をしているアツシが許せないから。

イ 昨年、委員長のアツシにいったい文句をいつて困らせた自
分がはずかしかったから。

ウ 今のクラスをしつかりと運営しているアツシがうらやまし
く、反抗したくなったから。

エ 自分では委員長の仕事にまだ満足していないのに、ほめら
れたことが不満だったから。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

①ゲキジョウや②ビジュツ館・図書館、店舗(てんば)や住宅な
どのインテリア照明から超(ちょう)高層建築のファザード・ライ
ティング(壁面(へきめん)照明)まで、空間を構成する要素とし
て必要不可欠な「光」をつくり出すのが照明デザイナーの仕事です。
私の場合、海外への取材旅行や中国・台湾(たいわん)・シンガポ
ール・ドイツ・スペインなど日本以外での仕事も多く、さまざまな国
の照明にふれる機会がありますが、そうした機会ごとに思い知らさ
れてきたのが「日本の住宅照明はまぶしすぎる」ということでした。
東日本大震災(しんさい)のあと、節電を心がける住宅や店舗が増
えてきたからそう言っているわけではないのです。二十年も前から
このことを感じていて、これまでに何度もそんな*主旨(しゅし)
のことを訴(うった)えてきました。

それでは、日本の住宅照明はなぜまぶしすぎるのでしょうか？

それはおそらく、照明は明るければ明るいほどいい、という誤っ
た考え方が、日本人には刷りこまれてしまっているためだと考えま
す。確かについ最近までこの考え方は一般(いっぱん)的だったか
もしれません。しかし、私たちはどんなに考え直してみても「明る
ければ明るい方がいい」という考え方には(1)合点(がてん)がいかないの
です。これまでの考え方は、少し発想が貧(ひん)しすぎる気がします。食

文化にたとえるならば、とにかくおなががいっぱいになればいいと
いうように、質より量ばかりを優先しているのと変わらないからで
す。素敵な人生を送ることとおなかいっぱい食べることはあまり関
係がないと思います。それよりも記憶(きおく)に残るおいしい料
理を感謝(かんしゃ)していただきたいと私は思うのです。

日本の照明事情は、蛍光(けいこう)灯(とう)が急速に普及(ふきゅう)
した戦後の高度経済成長期にひとつの転換(てんかん)期を迎(む
か)えました。そのころから、夜になっても部屋が*煌々(こうこ
う)と明るく照らされていることが増え、それが「A」
の象徴(しょうちょう)だと考えられるようになったのです。

私が幼稚(ようち)園に通っていたころ、今思えば大変な事件が
起きました。私の家に近所で初めて蛍光灯がやってくることになっ
たのです。今までのうすばんやりとした電球の明かりに代わって登
場してきた最新兵器である蛍光灯は、そのころの話題の中心にあり
ました。ある土曜日の夕方、蛍光灯の照明器具が入った大きな③「
モツ」が家に届けられました。気が付けば、近所の人たちが我が家に
集まっています。父が箱を開け、皆(みな)が*固唾(かたず)を
のんで見守る中、蛍光灯が天井からつり下げられます。そして、④
ソボがスイッチのヒモを引きました。パチパチパチンと光を放つ
瞬間(しゅんかん)を皆で見守っていたのを覚えています。「おおお
ー！」という感嘆(かんだん)の声とともに大きな拍手(はくしゅ)

が沸（わ）き上がりました。私自身、我が家で照らすまばゆいばかりの新しい光に正直感動しました。

その後、蛍光灯はこれまでのうす暗い部屋を一変させる白く美しい近代的な明かり、日本の経済成長を肌（はだ）で感じる素敵な光として⑤チョウホウされ、②日本の家庭を支配してきました。

しかし、今、時代は大きく変わりました。

それから五十年近い年月を経て、部屋全体を一樣にまぶしく照らす蛍光灯の光に何か空（むな）しさを感じる人がとても増えてきています。なぜこんなに明るくしなければならぬのか？ ただの電気の無駄遣（むだづか）いにしか見えない。そう感じる人も増えてきているのではないのでしょうか。もちろん、原子力発電所の事故や節電への関心の高まりに事の*発端（はつたん）があるのでしょうか、ともあれ、
B 「そう感じるほうが正常な感覚なのです。くり返しますが、日本の家は世界のどの国に比べても、まぶしすぎるのですから。」

日本のオフィスも、やはり明るすぎます。なぜ明るすぎるといふと、一九九〇年代に当時の通商産業省が推進した「ニューオフィスの推進」の指針として、オフィスの明るさとしては七五〇ルクス以上が適当であるというじつし目標値が出されたため、一般的なオフィスのほとんどはこの指針に沿った照明を設置しているからです。

一 C 一、東日本大震災のあと、その基準を見直すべき

かされているその様子は日本のオフィスに似ているところがあります。しかし、日本では管理職の立場にある人たちが窓に近い、少し大きめの机に陣取（じんど）るのに対して、アメリカの組織の管理職の人間に与えられる空間はまったく違（ちが）います。彼らに与えられるのは、ガラスで仕切られた個室なのです。この部屋の照明はほの暗く、机に家族の写真を飾（かざ）るなどしてリラクサスモードが醸（かも）し出されています。

両者の違いはあまりに象徴的です。本来、人は、煌々と蛍光灯に照らされた場所ではなく、そうした落ち着いた空間で⑦ソウゾウ的な仕事をしたと望んでいるということです。一 1 一

最近、部屋全体がまばゆいばかりに照らされていることに空しさを感じてしまいます。まぶしすぎる照明には間違っても価値は見出されません。ただひたすら明るいということでおなかいっぱいになるよりも、④味わいのある、おいしい光を*堪能（たんのう）したいという需要（じゅよう）が高まってきているはずだ。

現代日本に暮らす私たちは、ありがたいことに、食糧（しょくりょう）（不足の時代ではなくグルメの時代に生きています。現代人の食事は、量より質を重んじる傾向（けいこう）にあります。野菜や肉を食べるとき、その生産過程や生産者のことを気にしながら食事を楽しんでいるのです。満腹になることよりも味や香り、*クオリティーを楽しむことに真の価値が見出されるようになっていきます。

だという意見も出されています。いったい誰（だれ）がこんな高い照度を*推奨（すいしょう）値として定めたのだろうか？ と不思議でなりません。たとえば、アメリカではオフィスに必要な明るさは四〇〇〜五〇〇ルクスとされています。日本でも二〇〇二（平成十四）年には厚生労働省が、照度は必ずしも高くする必要がないという別の指針を発表していて、それによればオフィスの照度は三〇〇〜五〇〇ルクスが好ましいとされています。

それにもかかわらず、③旧来の指針に沿った明るすぎるオフィスがほとんどそのままになっているわけです。それは
D 一、高度経済成長期において明るいオフィスの中でがむしゃらに働き*エコノミックアニマルと呼ばれた、日本人の現代にいたるまでの歴史に起因することだと考えられます。

そんな日本のオフィスに対して、海外ではどうなっているのかを探るために映画を見返してみたいことがあります。

一 E 一、アメリカのミュージカル映画『プロデューサーズ』には一九五〇年代のオフィスが出てきます。そこで一般の社員たちは縦横に⑥ムキシツにレイアウトされた机に座（すわ）り、夕方五時に終業のベルが鳴るまで、ひたすらタイプライターを打ち続けています。照明はきわめて明るく、社員たちは室内にもかかわらず明るい照明から目を守るためにサンバイザーをしているほどです。サンバイザーには笑ってしまうのですが、明るすぎる部屋で働

照明にしても同じだと考えます。とにかく明るすぎることだけが求められているわけではありません。一 2 一

「おいしい光」とはたとえば、団らん（だんらん）の場に華やいだ気分をもたらしてくれたり、ゆったりとくつろげる時間の流れを感じさせてくれます。そしてまた、大切な人を美しく映し出したりもしてくれます。

一 3 一
このような話を聞けば、それを実現するためには高価な照明器具を買いそろえたり、工事をしたりしなければならないのではないかと考える人もいるかもしれません。しかし、それは違います。照明環境（かんきょう）を変えることは決して難しいことではなく、⑧ビヨウがかかることでもありません。ちょっとした工夫ひとつで「おいしい光」は堪能（たんのう）できるのです。一 4 一

私の照明デザイン*ポリシーは「NO LIGHT BUT GOOD LIGHT」――無駄（むだ）な光はいらない、おいしい光こそ必要なのだ！ というものです。

こうした発想を持つだけで、毎日の生活は途端（とたん）に楽しくなり、私たちの人生の時間は豊かになるのです。

一 5 一

東海林弘靖の文章による

*主旨 おもな意味。中心となる意味。

*煌々 ひかりかがやくさま。

* 固唾をのむ ことの成りゆきを案じて息をこらさすま。

* 発端 ものごとの糸口をひらくこと。

* 推奨 良いものであるとして、人にすすめること。

* エコノミックアニマル 日本人が経済的利益のみを追求するありさま。

* 堪能 十分に楽しむこと。

* クオリティー 品質。性質。

* ポリシー 方針。

問一 ぼう線部①から⑧のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 波線(1)「合点がいかない」と思った理由を、六十字以上七十字以内で書きなさい。

問三 一 A 一に入る言葉として最も適当なものを、次から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 戦後 イ 平和 ウ 明るさ エ 豊かさ

オ 日本

問四 波線(2)は、この文章中でどのような意味で使われているか。簡潔に説明しなさい。

問五 一 B 一に入る言葉として最も適当なものを、次から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 明るければ明るいほうがいいに決まっている！

イ 明るいことがいいことだなどと思えない！

ウ 明るいだけではなく、発電も考えるべきだ！

エ 明るいことは節電と対立しないものだ！

問六 一 C 一 D 一 E 一に入る言葉として最も適当なものを、それぞれ次から一つずつ選び、その記号を書きなさい。ただし記号は一度しか使えないものとします。

ア そんな イ ところで ウ たえば

エ やはり オ しかし カ また

問七 波線(3)「旧来の指針」とはどのようなものですか。具体的な内容を文章中から三十五字以内で探し、はじめとおわりの五字を書きなさい。

問八 波線(4)のように筆者が考えた理由を説明しなさい。

問九 文章中の 一 1 一から 一 5 一に次の段落を補うとすると、どこが最もよいですか。補う場所を一つ選び、その番号を書きなさい。

まぶしすぎる照明基準を卒業して、生活空間に「おいしい光」を取り入れることができたなら、毎日楽しく、変化に満ちたものになります。

'12 男中 第一回 国語解答用紙

問一	①	⑤	問二	問五	問六	問七	問八	問九	問十
める	④	⑦	問三	問四 問五 問六 問七 問八 問九 問十 問十一 問十二	C D D D D D D D D D	言葉。	60 70	問九 問十	問八 問九 問十
②	⑥	問二							
③	⑦	問三							
②	⑥	問二							
①	⑤	問二							
③	⑦	問三							
④	⑧	問四							
②	⑥	問二							
⑤	⑧	問三							
①	⑤	問二							

問一	①	⑤	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九
める	④	⑧	60	70	問三	問四	問五	問六	問七	問八
②	⑥	⑦	60	70	問三	問四	問五	問六	問七	問八
③	⑦	⑧	60	70	問三	問四	問五	問六	問七	問八
②	⑥	⑦	60	70	問三	問四	問五	問六	問七	問八
①	⑤	⑧	60	70	問三	問四	問五	問六	問七	問八
②	⑥	⑦	60	70	問三	問四	問五	問六	問七	問八
③	⑦	⑧	60	70	問三	問四	問五	問六	問七	問八
④	⑧	⑨	60	70	問三	問四	問五	問六	問七	問八
⑤	⑨	⑩	60	70	問三	問四	問五	問六	問七	問八

受験番号